

会員サービス向上アンケートについて〔個別意見に対する回答〕

分類	個別意見(主な意見)	対応案・回答
リモート	・リモートで参加できるイベントに参加したい	・すでにZOOMを本部、支部での講演会や委員会、幹事会に利用が始まっています ・ZOOM以外のツールの利用ケースも始まっています
	・リモート会議の環境整備を行ってほしい	・本部で支部でも使用可能なZOOM(有料版)を購入しています ・東京支部ではリモート用機器購入など環境整備を実施しました
	・リモート会議環境整備は経費削減効果も期待できるので早急に進めてほしい。ただ、懇親会の機会が減るのはさみしい	・リモート会議(併用系)推進中、懇親会はコロナ禍の状況で判断
サービス	・会員サービスの概要を知りたい	・アンケート実施時に紹介済み ・再度、HPに掲載済みです
	・メールアドレス紹介サービスは、双方を繋ぐサービスとして同窓会ならではのサービスである。ただし、本人の了解を得て行うと良い	・既に実施しています (本部に書類による申請手続きすれば情報提供しています)
	・会員共通の利便性に配慮したサービスの提供をお願いしたい	・具体的な要望をご提案下さい。 サービス向上全体として総務部会で検討します。
サイト	・気楽に参加できる交流の仕組みを要望。WEBサイトの充実を希望	・明専会HPのWEBサイトの内容充実を行っていく
	・明専の歴史や文化を伝えていく必要がある ・初期の校舎、建築が素晴らしいので全面に出してほしい	・明専会100年の群像、明専会報、大学HP等で紹介 ・明専寮の歴史や寮歌の寮生への伝承は実施(担当:土器理事)
	・「技術的なトピックス解説教室」の申請窓口を明専会HPに作り、イノベーション推進センター経由で、該当する教員に渡してもらう	・2020事業検討委員会でも、検討課題となっています。
サークル	・現在、サークルはどんなものがありますか？ ・学生の頃のサークルが今どうなっているのか知りたい人は多い	・クラブ、サークルは九工大HPで紹介しています。 ・明専会報904(2020)「責善会の今」でも紹介 ”分かりやすいHP作りや、周知は必要かも”
	・クラブ・サークルに補助金を出して欲しい	・2020事業検討の中で検討を計画(担当:鶴田副会長) —2021年候補選択、2022年から実施予定—
企画	・若い人が参加するような企画を増やすと良い。そのためにも各支部の幹事に若い人に多くなってもらうことが良い	・支部活動運営部会の中に 若手会員増の促進WGを設置(2021～)
	・生活に密接したような講演や集まり等があると、社会人、家庭人としての意識で、明専会との関わりができるのではないのでしょうか	・各支部における講演・講座の進め方の中で検討してください
会員名簿	・支部への新入会員増のため、連絡手段が欲しい	・各支部長が本部に依頼書を提出すれば可能です
	・名簿の管理が幹事にとっては大変です。卒業パーティーなどを開催して、各支部関係者の連絡先名簿を渡すとよいかもかもしれない	・卒業生へ主な支部の新人歓迎会(連絡哉)などは紹介しています ・HPに支部長のメールアドレスを入れるかは要検討
その他	・OBの勤務先や開発技術や技術について、公開できる範囲でかまわないので情報が欲しい。仕事上の付き合いの機会が増える	・最近、WEB・OB訪問会などでOBによる業務紹介を行っています ・明専会HPの各種問い合わせに具体的に問い合わせ願う
	・東京センターのサテライトオフィスとしての利用を大学にも勧める	・明専会報で紹介済、大学紹介はコロナ禍で次年度以降に予定